令和４年度「学校評価」結果（概況報告）

盛岡第二高等学校

【調査結果】

昨年度との比較
「肯定的な評価」（注1）の比率の過年度比較

三者の比較
R4 生徒・保護者・教員間

質問項目	4年度調査 生徒	4年度調査 保護者	4年度調査 教員	3年度調査 生徒	3年度調査 保護者	3年度調査 教員	生徒－保護者	生徒－教員	保護者－教員
	斜体・ゴシック体＝65%未満 *斜体＝75%未満* 下線部＝90%以上						***斜体・ゴシック体＝±20以上の差*** *斜体＝±15以上の差*		
1 教育目標の周知	79%	80%	87%	82%	84%	95%	−1%	−8%	−7%
2 わかりやすい授業の実施	82%	75%	92%	80%	76%	98%	7%	**−10%**	***−17%***
3 学習指導の徹底	76%		92%	*74%*		95%		***−16%***	
4 家庭学習・課題の点検	77%	*67%*	90%	77%	*70%*	88%	10%	−13%	***−23%***
5 応用力のつく授業の実践	*74%*		*74%*	*65%*		75%		**0%**	
6 生活のきまりやマナーの遵守	83%	87%	90%	78%	88%	93%	−4%	−7%	−3%
7 生徒会活動や部活動の活発さ	94%	88%	97%	94%	91%	95%	6%	−3%	−9%
8 勉強と部活動の両立	81%	78%	90%	79%	80%	93%	3%	−9%	−12%
9 生徒への安心安全の支援	86%	80%	100%	84%	83%	98%	6%	−14%	***−20%***
10 登下校時等の安全指導	85%	83%	100%	85%	80%	100%	2%	*−15%*	*−17%*
11 希望進路の実現	87%	79%	97%	90%	83%	100%	8%	−10%	*−18%*
12 卒業後を考えた指導	87%	76%	95%	87%	78%	95%	11%	−8%	*−19%*
13 保護者と連携した進路指導	80%	*69%*	100%	78%	75%	98%	11%	***−20%***	***−31%***
14 二高に入学して「良かった」	*74%*	90%		81%	90%		*−16%*		
15 安全・清潔な学習環境の保持	93%	93%	100%	92%	94%	98%	0%	−7%	−7%
16 生徒の相談への丁寧な対応	83%	78%	100%	83%	80%	100%	5%	*−17%*	***−22%***
17 生徒の居場所づくり	84%	81%	100%	83%	85%	98%	3%	*−16%*	*−19%*
18 保護者と連携したPTA活動		*68%*	100%		*74%*	95%			***−32%***
19 地域への貢献	83%	83%	92%	86%	83%	88%	0%	−9%	−9%
20 学校徴収金の額		93%	100%		94%	100%			−7%
21 特色あるコース選択	90%			87%					
22 法令遵守			100%			100%			

（注1） 各項目をa～dの4段階で評価し、a「大いにそう思う」とb「そう思う」を「肯定的な評価」、c「あまり思わない」とd「全く思わない」を「否定的な評価」としている。

【分析１】 全体的な傾向について

肯定的評価で75%以上の項目が多い（生徒17/19 保護者15/18 教員20/20）。生徒評価では14項目で80%を超えた。肯定的評価で65%未満の項目はない。最も肯定的な評価が低い項目は、項目4「家庭学習・課題の点検」（保護者67%）である。生徒・教員に共通して評価が低い項目は、5「応用力のつく授業の実践」（生徒74% 教員74%）であるが、生徒評価は昨年度よりも9ポイント増加し改善傾向にある。

【分析２】 評価が高かった項目、評価が改善した項目について

「7 生徒会活動や部活動の活発さ」（生徒94% 保護者88% 教員97%） 今年度も三者から高い評価を得た。生徒評価では1位である。コロナ禍ではあるが、様々な工夫・対策を施しながら活動の継続を図っていきたい。

「15 安全・清潔な学習環境の保持」（生徒93% 保護者93% 教員100%） 今年度も生徒と保護者から高い評価を得た。普段の清掃をはじめ、修繕箇所への速やかな対応を継続してきたためと考えられる。

「20 学校徴収金の額」（保護者93% 教員100%） 適正な金額ととらえていただいたと考えられる。

【分析３】 評価が低かった項目、評価が分かれた項目について

【改善策等】

【分析３】	【改善策等】
「5 応用力のつく授業の実践」（生徒74% 教員74%） 生徒・教員で最も評価が低かったが、生徒評価は2年連続で9ポイントずつ増加した。一昨年度比では18ポイントの増加である。例年、2年生が相対的に低い傾向であるが、今年度は1年生82%、2年生73%、3年生68%と決して低くはなかった。現3年生は昨年度2年生だった時よりも12ポイント増加したものの、70%には届かなかった。	個々の教員が生徒の理解度を丁寧に把握することで日々の授業改善と工夫を行い、基礎基本の定着のみならず応用分野の指導にも力を入れていく。
「4 家庭学習・課題の点検」（生徒77% 保護者67% 教員90%） ポイントを見ると、三者の評価は昨年度とほぼ同水準である。保護者評価はワーストである。保護者は生徒や教員ほど家庭学習の質や量、あるいは課題点検の状況に満足していないことが分かる。	良き学習習慣作りのため、保護者の理解を得ながら指導を継続していく。また、進路目標の達成に向けた家庭学習の必要性を生徒に自覚させ、モチベーションを高める。
「14 二高に入学してよかった」（生徒74% 保護者90%）生徒と保護者とで評価が分かれた項目である。生徒評価は、昨年度比で7ポイント減少した。学年別で見ると、1年生66%、2年生74%、3年生81%となっており、1年生は昨年度比で12ポイント減少している。ただ、学年が上がるにしたがってポイントは上昇している。一方、保護者評価は昨年同様90%と高水準を維持した。	生徒が本校で充実した3年間を過ごせるよう、生徒および保護者のニーズをしっかりと踏まえ、授業、学校行事、課外活動、安心安全な学校生活などの普段の教育活動を総合的に見直し、二高の魅力を向上させていく。
「18 PTA活動における保護者との交流・対話」保護者評価の中でワースト2位の68%である。コロナ禍による学校行事の縮小や中止により、保護者が参加する場面や協力する場面がほぼ無かったことが大きな要因と考えられる。	今後も制限のある中での教育活動を余儀なくされると思われるが、生徒・保護者・教員の三者が一体化して行えるようなPTA活動の在り方を模索していく。
「13 保護者と連携した進路指導」（生徒80% 保護者69% 教員100%）三者で評価の分かれた項目である。生徒・保護者の評価が低いのは、生徒・保護者が学校からの進学情報提供や教員との連携強化、指導法等についての希望が満たされていないことが一因であると考えられる。教員が思うほど生徒・保護者は満足していない現状を認識し、さらに丁寧な進路指導を行うことが必要である。	進路学習会への保護者の参加率向上、時宜に応じた進路情報提供について、更に工夫を検討する。保護者の希望を丁寧に聞き取ったうえで、保護者との連絡を密にしながら意思疎通を促進する。